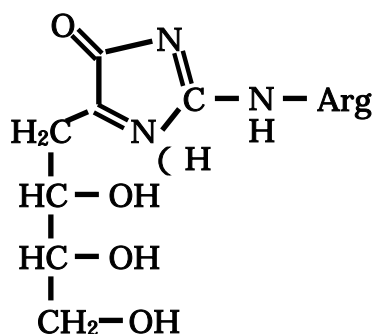


Advanced Glycation End Products (AGEs)  
**抗 3-DG- imidazolone モノクローナル抗体**  
**(Clone No. JNH-27)**

老化に伴う慢性疾患に AGEs が深く関与していることを示唆され、数種の AGEs 構造体は糖尿病領域や脳疾患の分野においても重要視されております。イミダゾロンは AGEs 構造体の1種と考えられており、3-deoxyglucosone(3-DG)を経て生成する経路と methylglyoxal を経由して生成する2つの経路が提唱されています。しかし、種々の疾患においてどちらの反応経路が優先的に進むのかは、解明されておらず、今後の研究が待たれます。

本抗体は AGEs 構造体の一つのイミダゾロンがどのような疾患で、どの組織にどの程度出現するのかを解析するツールとして、AGEs と疾患との関連を明らかにすることに役立つものと期待されます。

容量	50μg (200μL/vial)
形状	マウスモノクローナル抗体 0.25mg/mL、凍結品
バッファー	PBS [2%ブロッカー(安定化蛋白)、0.1%proclin 含有]
保管方法	- 20 以下 抗体を低濃度にて冷蔵保管されますと、失活する恐れがあります。 融解後は4 で保存し、お早めにご使用下さい。 凍結融解を繰り返すことは避けて下さい。
クローン番号	JNH-27
サブクラス	IgG1
製造方法	imidazolone-HSA で免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞とマウスミエローマ P3U1 を融合して得たハイブリドーマを BALB/c マウス腹腔内で増殖させ、腹水を採取。採取した腹水より Protein G アフィニティーカラムにて精製。
使用濃度	組織染色: 約 7μg/mL



3-DG derived imidazolone

Advanced Glycation End Products (AGEs)  
**抗 3-DG- imidazolone モノクローナル抗体**  
**(Clone No. JNH-27)**

【参考文献】

1. Noriyuki Shibata et al, Acta Neuropathol Vol.100. 275-284 (2000)

製造元

 株式会社トランスジェニック

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 7-1-14

TEL: 078-306-0295 FAX:078-306-0296

URL:<http://www.transgenic.co.jp> techstaff@transgenic.co.jp